

2025 年 7 月 1 日

日本銀行岡山支店

岡山県金融経済月報

1. 概況

県内景気は、一部に弱めの動きがみられるが、緩やかな回復を続けている。

最終需要をみると、個人消費は、物価上昇等の影響を受けて、増加ペースが鈍化している。設備投資は、非製造業を中心に増加している。住宅投資は、弱めの動きとなっている。公共投資は、緩やかに増加している。

県内主要製造業の生産は、海外経済の回復ペース鈍化等の影響を受けつつも、輸送用機械の回復等から持ち直している。

雇用・所得環境をみると、労働需給は引き締まっており、雇用者所得は改善している。

この間、各国の通商政策等の影響を受けて、輸出関連企業を中心に受注・生産面や収益面等への下押し圧力がみられている。先行きについても、各国の通商政策の今後の展開や、その影響を受けた海外の経済・物価の動向等を巡る不確実性がきわめて高い中、それらが当地の金融経済情勢に与える影響を注視していく必要がある。

2. 実体経済

(1) 最終需要

個人消費は、物価上昇等の影響を受けて、増加ペースが鈍化している。

百貨店・スーパー売上高は、物価上昇等の影響を受けて、増加の動きが一服している。乗用車販売は、持ち直している。家電販売は、持ち直しつつある。主要観光地への入り込みは、着実に増加している。

設備投資は、非製造業を中心に増加している。

6 月短観調査における 2025 年度の県内企業の設備投資額（全産業）は、増加見込みとなっている。

住宅投資は、弱めの動きとなっている。

公共投資は、緩やかに増加している。

(2) 生産

県内主要製造業の生産は、海外経済の回復ペース鈍化等の影響を受けつつも、輸送用機械の回復等から持ち直している。

主要業種の生産動向をみると、輸送用機械は、回復している。電気機械は、IT 関連財における在庫調整の進捗等から、緩やかに持ち直している。鉄鋼は、自動車向け等では回復しているものの、海外経済の回復ペース鈍化等の影響から、持ち直しの動きが一服している。化学は、海外経済の回復ペース鈍化等の影響から、弱めの動きが続いている。

(3) 雇用・所得

労働需給は引き締まっており、雇用者所得は改善している。

(4) 物価

消費者物価（岡山市、生鮮食品を除く総合）の前年比は、3 % 台半ばとなっている。

3. 金融

県内実質預金、県内貸出は、ともに緩やかに増加している。貸出約定平均金利は、幾分上昇しているが、引き続き低水準で推移している。

以 上

内容についてのご照会は下記までお願いします。

〒700-8707 岡山市北区丸の内 1-6-1

日本銀行岡山支店総務課 電話 086-227-5111（代表）

ホームページアドレス <https://www3.boj.or.jp/okayama/>



知 る ほ る と
岡山はこちら!!

